まえがき

名古屋大学年代測定資料研究センター
センター長　柴田　賢

名古屋大学にタンデトロン加速器質量分析計が設置されたのは，１９８２年3月のことであり，すでに１４年が経過した．この間，本機は学内共同利用施設として研究・教育に利用されてきた．また，学外の研究者についても，共同研究の形をとって盛んに利用されており，実質的には全国共同利用施設の役割を果たしているといえる．”タンデ”を利用した研究分野は地球科学，地理学，考古学，人類学，林学，文化財科学などの様々な分野におよんでいる．これらの研究成果は名古屋大学加速器質量分析計業績報告書（Ｉ）－（ＶＩ）として公表されている．

タンデ１号機による共同利用施設としての実績が認められて，１９９５年度の概算要求でタンデ２号機の設置が認められた．さらに，１９９６年度に予定していた後半の部分も１９９５年度の２次補正予算で認められた．このため１９９５年度は年代測定資料研究センターにとって記念すべき，しかし大変な年となった．本予算と補正予算と２回に分けてそれぞれ数回の仕様策定委員会や技術審査委員会が開かれ，８月と１０月に開札の結果，丸文株式会社を総代理店として，オランダ High Voltage Engineering Europa社製のタンデトロン加速器質量分析計の購入が決定した．これと並行して装置を納める部屋の準備作業が始まった．タンデは古川総合研究資料館１階の地球科学資料室の大部分，約２４０ｍ^{2}を改修して設置されることはすでにきまっていたが，そこに納めてあった２０万点もの岩石・化石試料の移動が大問題であった．理学部地球惑星科学教室，情報文化学部，大学院人間情報学研究科の先生方に試料の整理をお願いし，一方資料館の中に何とか移転先を確保した．そして８月下旬に日本通運によって１０日間をかけて大移動は完了した．この間，関係の先生方には大変なご苦労をおかけした．さらに，考古学関係の資料室約４０ｍ^{2}を地球科学資料室として提供していただいた．改めて関係各位のご理解とご協力に御礼申し上げる次第である．３月初めには加速器本体の部屋と２つの試料調製室に生まれ変わり，３月半ばには本体が導入される予定である．この改修の経費についても，本部の格別のご配慮をいただいたことを忘れてはならない．

タンデ２号機の仕様，性能は昨年の報告書で詳しく紹介されているが，測定時間が１号機の２－３時間／１試料から２０－４０分／１試料と短くなり，試料処理能

力が格段に向上することは間違いない．将来は１号機を使用して^{10}Ｂｅや^{26}Ａｌなどの長半減期の放射性同位体を用いる年代測定研究も可能となり，新たな研究分野の開拓が期待される．

名古屋大学年代測定資料研究センターが主催する行事の一つに加速器質量分析計シンポジウムがあり，今年で第５回を数える．今回は，”南九州の火山と遺跡の年代をさぐる”というテーマで，鹿児島市で３月９日に開催されることになった．南九州には多くの火山があり，火山灰の^{14}Ｃ年代測定も数多く実施されており，現地でシンポジウムが開催される意義は大きい．この機会に南九州の火山の歴史や遺跡の年代について活発な討論が行われることを期待したい．

今回，ここに名古屋大学加速器質量分析計業績報告書（ＶＩＩ）として本シンポジウムの講演内容を含む１９９５年度のタンデの研究成果を刊行することになった．今年はシンポジウムの前に原稿執筆の依頼をお願いすることになり，ご迷惑をおかけしたことをおわびすると共に，本報告書に原稿をお寄せ下さった各位に感謝の意を表する．

最後に年代測定資料研究センターの将来について一言述べさせていただきたい．年代測定資料研究センターには１０年の時限がついており，あと４年でその時限がくることになり，将来計画を立案しなければならない時期にさしかかっている．本センターのタンデを核にした多分野にわたる研究活動とその成果，そしてタンデ２号機の導入は第２期へと発展をめざすセンターにとって，大変明るい材料ということができる．しかし，しっかりとした将来計画を作成し早い機会に提案していくことが重要であろう．これに関連して，本センターが中心となって検討を重ねてきた”名古屋大学博物館（仮称）構想に関する報告書”が１月にできあがり，運営委員会や協議会に提出された．この報告書では，大学博物館を核とした大学院独立研究科”自然史学専攻”の設置構想が提案された．これはきわめて斬新で大胆な提案であり，年代測定資料研究センターを発展・充実させて大学博物館を新設することがうたわれている．年代測定資料研究センターの将来計画は，この構想を念頭において，また一方では全国共同利用施設への発展を視野にいれながら進めていくことになろう．本センターのますますの発展を祈りながら，この”まえがき”をもってセンター長退任と停年退官の挨拶とさせていただきます．